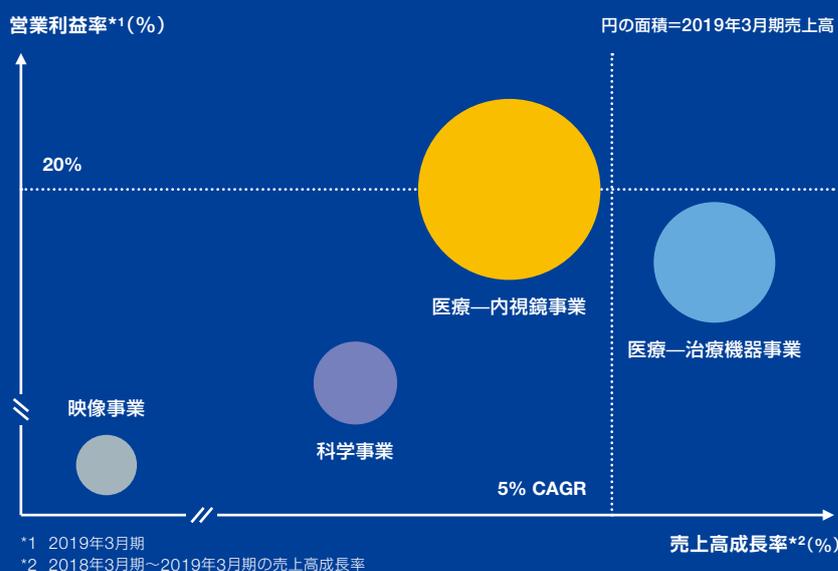


経営戦略における重点項目A

A 事業ポートフォリオの 選択と集中

医療分野に経営資源を集中

当社は真のグローバル・メドテックカンパニーへ飛躍することを目指しています。今後、経営戦略に基づいて継続的にポートフォリオの見直しを行います。成長領域である医療分野には、経営資源を重点的に投入していきます。科学事業においては、収益をしっかりとコントロールしながら運営していく方針です。



映像事業の譲渡

映像事業を新会社として分社化し、日本産業パートナーズ株式会社が管理・運営等をする特別目的会社に対して譲渡することを決定し、2020年9月30日に最終契約を締結しました。

映像事業は1936年に写真レンズ「ズイコー」を用いた写真機の製造販売を開始して以来、世界の人々の心の豊かさの実現に貢献することを目指してまいりました。近年はデジタルカメラを取り巻く事業環境が厳しい中、継続的に利益を生み出せる構造とするべく、収益性の改善を図りましたが、2020年3月期まで3期連続で営業損失を計上するに至っています。

このような状況において、当社は、よりコンパクトで筋肉質かつ機動的な組織構造とすべく映像事業を分社化し、日本産業パートナーズ株式会社のもとで事業を展開することが、映像事業の自律的かつ持続的な成長を実現し、オリンパスの製品を愛好するお客様への価値提供と、そのために働く従業員にとって最適であると判断し、2021年1月1日に譲渡を完了させることを目指しています。

米国ノーウォーク工場の譲渡

米国における治療機器の製造拠点Olympus Surgical Technologies Americaの一つであるノーウォーク工場を、NISSHA株式会社の100%子会社であるNissha Medical Technologies (NMT)に譲渡することについて、NISSHAとの間で8月6日に契約を締結しました。本契約に基づき、同工場のNMTへの譲渡は2020年12月末までに完了する予定です。

グローバル・メドテックカンパニーとして持続的成長を目指すために、製造機能においても、グローバルレベルでの生産構造の最適化に取り組んでおり、本件はその一環です。

なお、ノーウォーク工場で生産している泌尿器・婦人科向けデバイスや治療機器一部製品コンポーネントについては、NMTに生産委託し、同工場の従業員は原則として譲渡後も同社に継続雇用されます。今後も、医療機器の受託生産・設計を強みとするNMTと連携し、顧客ニーズに応じた高品質な製品提供に取り組んでまいります。